

～新型コロナウイルスによる途上国の院内感染・医療崩壊を防ぐために～  
日本式病院マネジメントを紹介した映像教材を  
藤田医科大学病院監修でJICAが製作

藤田医科大学病院（愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98 病院長：湯澤由紀夫）は、JICA（国際協力機構）からの協力要請を受け、医療の質・安全対策部 医療の質管理室 安田あゆ子室長らが新型コロナウイルスによる院内感染・医療崩壊を防ぐための映像教材「エジプト国 病院の質向上プロジェクト 遠隔研修用教材 院内感染対策の強化のためのカイゼン ～コロナ禍における現場の経験から～」を監修。同教材は、1月よりエジプトや途上国各国での研修に活用されています。

### ■教材について

JICA では、エジプトの保健医療サービスの質改善に向けた「病院の質向上プロジェクト（2019年-2024年）」において、5S-KAIZEN-TQM<sup>※</sup>アプローチによる日本式のカイゼン手法の普及を進めています。しかし、同プロジェクトがスタートして間もなく、新型コロナウイルス感染症が蔓延。院内感染や医療崩壊を防ぐため、当院が協力し本教材を製作することとなりました。

本教材では、好事例として藤田医科大学病院における組織内での情報伝達・共有方法および院内感染予防をカイゼンする具体的な方法や、一人の二次感染者も出さなかった藤田医科大学岡崎医療センターでのクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」号感染者受け入れの取り組みなどを紹介。併せて、JICA がこれまで 5S-KAIZEN-TQM を実施してきたタンザニア、エジプトでの好事例も取り上げています。

#### ※5S- KAIZEN -TQM

日本の産業界で開発された職場環境改善および品質管理の手法

「院内感染対策の強化のためのカイゼン ～コロナ禍における現場の経験から～」の映像教材は、下記アドレスまたは右記 QR コードよりご覧いただけます。

<https://www.youtube.com/watch?v=sv3JtUe62SQ>



### ■医療崩壊を防ぐために

エジプトでは、2021年4月下旬から新型コロナウイルスの第3波が始まっているとみられ、感染者数は現時点で累計25万人を超えています。2021年1月には、保健・人口大臣が「検査の結果陽性と判明した感染者の10倍は感染者がいる」と発表。感染者の急増、無症状感染者の増加、重篤化患者への対応に伴う院内感染予防の強化は、医療崩壊を防ぐための喫緊の課題となっています。

既にアラビア語版は、エジプト国の医療従事者および病院管理手法指導を行う国家指導員（National Facilitator）の育成研修で活用されているほか、教材は日本語、英語、フランス語、スペイン語、アラビア語版等も作られています。また、JICA ネット教材として YouTube にもアップされており、各国での研修等への活用が可能になっています。

〈本件に関するお問い合わせ先〉 学校法人 藤田学園 広報部  
TEL:0562-93-2868・2492 MAIL : koho-pr@fujita-hu.ac.jp